



製造業の 名脇役たち

Vol.24

環境対応型の不織布を開発、付加価値を高める Advance Nonwoven Vietnam

不織布の中でもспанボンド不織布に特化した素材メーカー。2014年、輸出の拠点にと空港と港が近いダナンに進出した。顧客はマスク、病院用アイソレーションガウン、家具などのメーカー、航空会社、商社と幅広く、月産量は約170t。40フィートコンテナに10tが入るというから17本分になる。「現在は国内販売が多くなりまして、顧客の約6割はローカル企業です」

日本と中国にグループ会社があるが、不織布の生産はベトナムが初めてだ。市場開拓で受注は徐々に増え、新型コロナウイルスでマスクやガウンが不足した2020年はフル操業に。今年は世界的な不景気で需要が落ちているそうだが、価格競争に巻き込まれたくないと以前か

ら開発を始めていた、環境対応型不織布の需要が高まりつつある。

焼却後のCO2濃度の増加を抑えるバイオマスベースの「BioALFIN」は、マスク、航空機内の手荷物用カバー、アパレル試着室での女性用フェイスカバー、布団収納袋などで使用されており、生分解性の「BioPBSспанボンド不織布」は家庭用コーヒーマシンのコーヒークапセルなどでリプレースが始まっている。

特に後者は高額なので環境意識の高い欧州企業に限られるなど、環境対応商品の出荷量はまだまだ少ない。しかし、将来の市場に向けて「今からスタートしないと先頭は走れない」と意気込む。

「今後も生地の製袋、機能剤の塗布など

不織布に後加工を施して、付加価値を高めた商品を作る予定です」

